



masanori ochi

院長 越知正憲

藤田保健衛生大学院卒。愛知県内の病院で経験を積み、先進の設備と技術を持つ「おち夢クリニック名古屋」を開院。名古屋地区で最大規模の不妊治療専門クリニックとして、身体にやさしい治療を続ける一方、藤田保健衛生大学客員講師も務める。

第12回

AMH検査で卵巣状態を把握し、
的確な治療法を決定

体外受精を成功へ導くために必要な採卵の事前準備。質のよい卵子を獲得するため、AMH値を指標とした『おち夢クリニック名古屋』の治療法を紹介する。

AMH値から
分かることは？

前回は「患者の精神的負担を取り除くための取組み」について説明したが、今回は、具体的にどんな治療が行われているのかを紹介したい。

『おち夢クリニック名古屋』は治療をする上で、身体にできるだけ負担をかけないことを大切に、子宮卵巣状態を的確に把握するためにAMH検査を行っている。AMHとは、抗ミュラー管ホルモンの略称で、卵巣内にある前卵泡細胞の顆粒膜細胞から分泌されるホルモンのことであり、卵巣内にどのくらい卵があるかの目安となる。一般に若い女性ほど前卵泡細胞が多いためAMH値は高く、加齢とともに減少し、AMH値も低くなる。ただし、AMHが低い＝卵巣状態が悪い、ということ

ではない。AMH値は月経周期内でも変動するため、同クリニックでは迅速に治療に反映できるようAMH検査機器を導入し、定期的に測定している。AMH値は体外受精での排卵誘発法を決定するための指標のひとつとしている。

ではAMH値が低い場合、妊娠は難しくなるのだろうか？
「確かにAMH値がゼロに近い場合は、よい状態ではありませんが、原始卵胞は、AMHを分泌していませんので、これらが成長してくる何周期か後には、卵胞からAMHが分泌され値が上がってくる可能性があり、AMH値が低くても妊娠する人はたくさんいます」と越知院長。「ひとりひとりの状況に応じた治療法で、卵巣への負担を減らし確実に質のよい卵子を確保する治療を目指します」



1.採光・温度などを細やかに管理する採卵移植室。採卵・移植の際も超音波モニターで自身の状態を確認でき、安心して治療を受けられる。2.院内で測定できるAMH測定機器。体外受精を行う際の準備や採卵するための方法や治療周期の方針決定に活用している。3.患者同士の交流や情報交換のための「お話ノート」。



おち夢クリニック名古屋

おちゆめクリニックなごや

DATA

- ☎052-968-2203
- 📍名古屋市中区丸の内3-19-12 久屋パークサイドビル8F
- 🕒月～木/9:30～12:30 16:00～18:30、金～日・祝/10:00～12:30
- 🚗無休 🏠体外受精¥346,500～(完全自然周期は成功報酬制あり)
- 🚗不可 🚗なし
- 🚗地下鉄名城線・桜通線久屋大通駅2A出口より徒歩1分 📞要予約
- 🌐www.art-ochi.com

